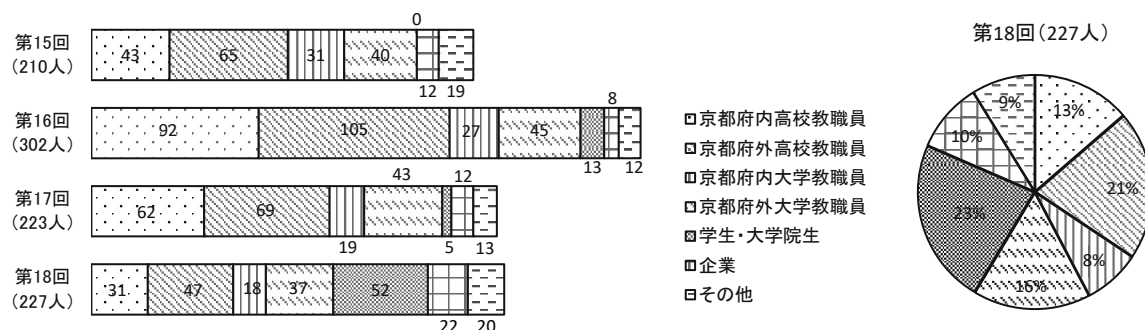
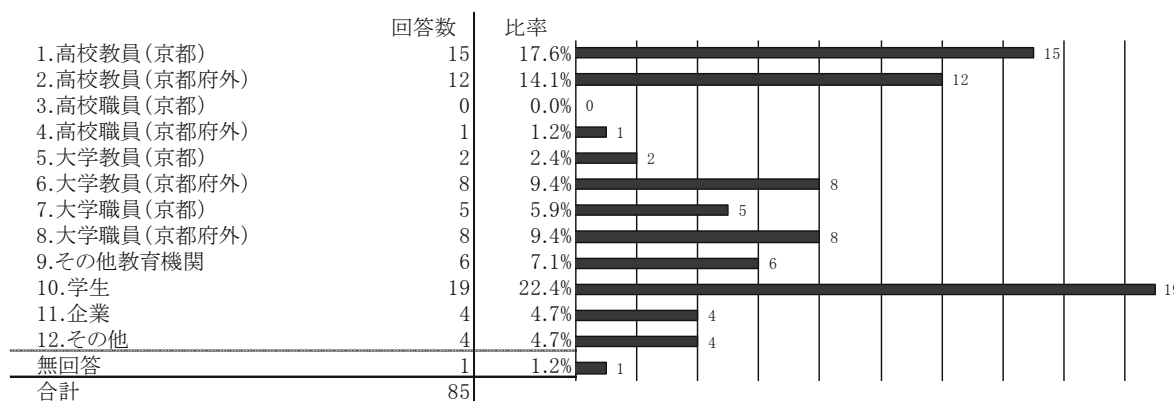


第18回高大連携教育フォーラム 参加者アンケート結果

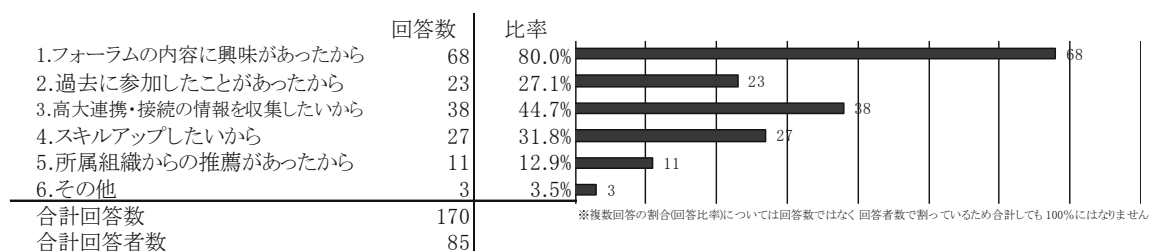
(1) 参加者数及び内訳



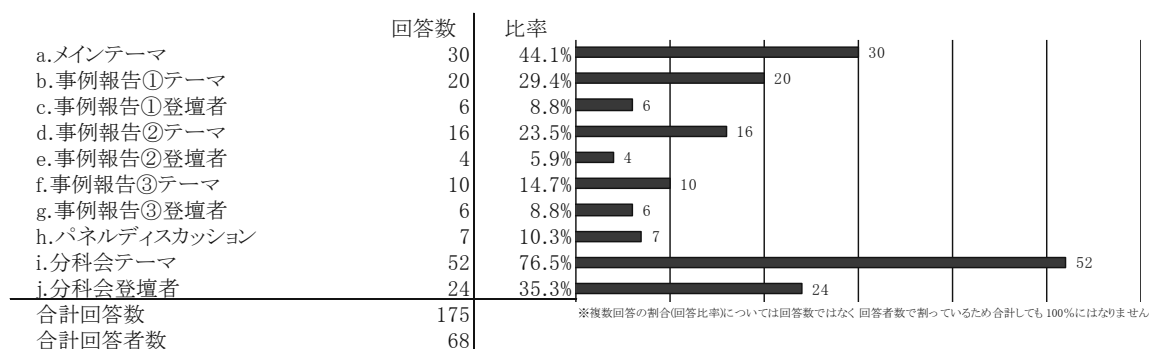
(2) 回答数及び内訳



(3) 参加理由 (複数回答可)



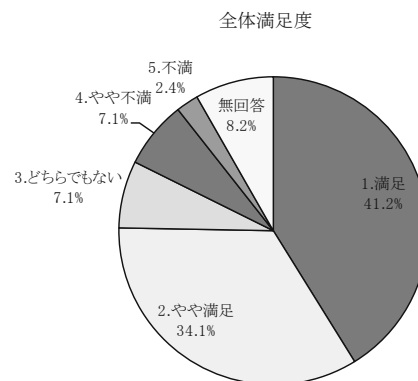
(4) 興味があった内容の内訳 (複数回答可)



(5) 満足度

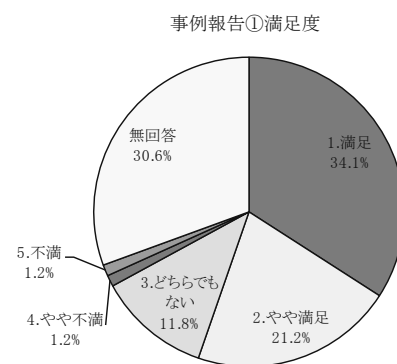
◆フォーラム全体

	回答数	比率
1.満足	35	41.2%
2.やや満足	29	34.1%
3.どちらでもない	6	7.1%
4.やや不満	6	7.1%
5.不満	2	2.4%
無回答	7	8.2%
合計	85	



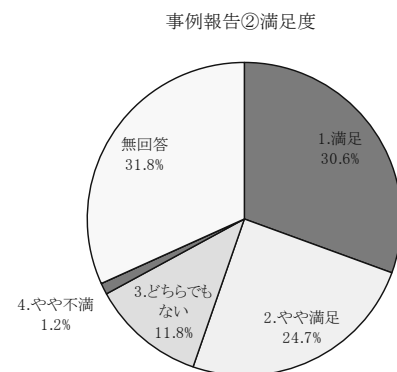
◆事例報告①

	回答数	比率
1.満足	29	34.1%
2.やや満足	18	21.2%
3.どちらでもない	10	11.8%
4.やや不満	1	1.2%
5.不満	1	1.2%
無回答	26	30.6%
合計	85	



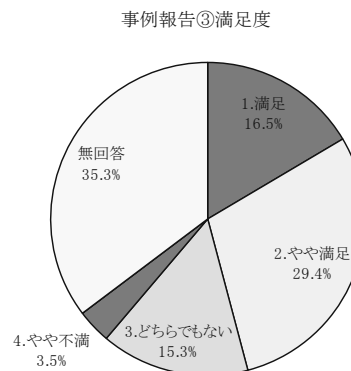
◆事例報告②

	回答数	比率
1.満足	26	30.6%
2.やや満足	21	24.7%
3.どちらでもない	10	11.8%
4.やや不満	1	1.2%
5.不満	0	0.0%
無回答	27	31.8%
合計	85	



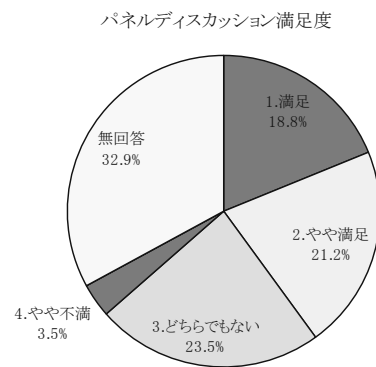
◆事例報告③

	回答数	比率
1.満足	14	16.5%
2.やや満足	25	29.4%
3.どちらでもない	13	15.3%
4.やや不満	3	3.5%
5.不満	0	0.0%
無回答	30	35.3%
合計	85	



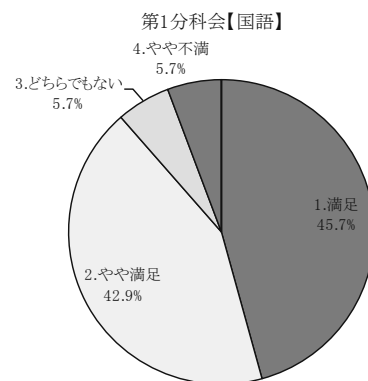
◆パネルディスカッション

	回答数	比率
1.満足	16	18.8%
2.やや満足	18	21.2%
3.どちらでもない	20	23.5%
4.やや不満	3	3.5%
5.不満	0	0.0%
無回答	28	32.9%
合計	85	



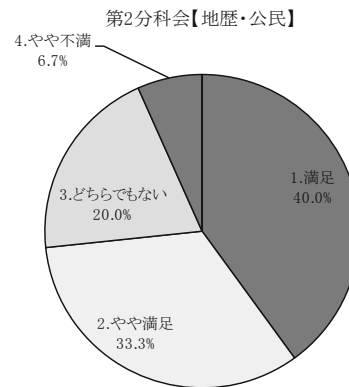
◆第1分科会【国 語】

	回答数	比率
1.満足	16	45.7%
2.やや満足	15	42.9%
3.どちらでもない	2	5.7%
4.やや不満	2	5.7%
5.不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	35	



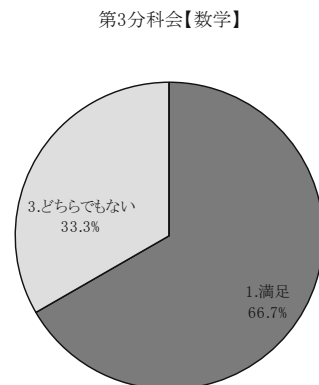
◆第2分科会【地歴・公民】

	回答数	比率
1.満足	6	40.0%
2.やや満足	5	33.3%
3.どちらでもない	3	20.0%
4.やや不満	1	6.7%
5.不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	15	



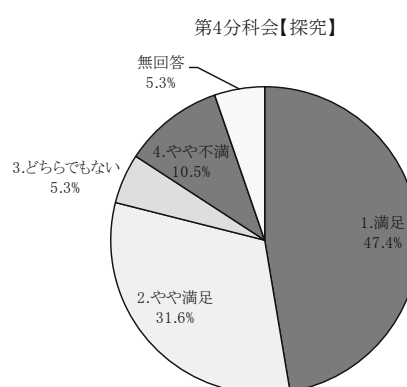
◆第3分科会【数 学】

	回答数	比率
1.満足	2	66.7%
2.やや満足	0	0.0%
3.どちらでもない	1	33.3%
4.やや不満	0	0.0%
5.不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	3	



◆第4分科会【探 究】

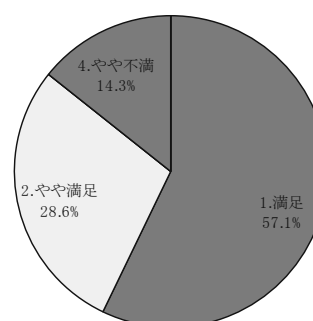
	回答数	比率
1.満足	9	47.4%
2.やや満足	6	31.6%
3.どちらでもない	1	5.3%
4.やや不満	2	10.5%
5.不満	0	0.0%
無回答	1	5.3%
合計	19	



◆特別分科会①【アドミッション専門人材開発】

	回答数	比率
1.満足	4	57.1%
2.やや満足	2	28.6%
3.どちらでもない	0	0.0%
4.やや不満	1	14.3%
5.不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	7	

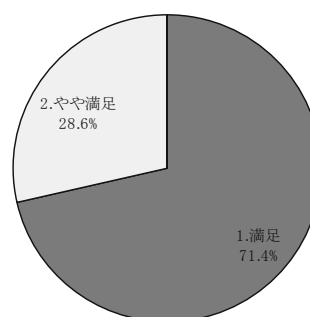
特別分科会①【アドミッション専門人材開発】



◆特別分科会②【高大社連携キャリア教育】

	回答数	比率
1.満足	5	71.4%
2.やや満足	2	28.6%
3.どちらでもない	0	0.0%
4.やや不満	0	0.0%
5.不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	7	

特別分科会②【高大社連携キャリア教育】



(6) ご感想やご希望、その他ご意見(抜粋)

フォーラム全体

- ・疑問を抱いていた内容について、新たな気付きを得られた。
- ・興味深い取り組みを知り、視野を広げることができた。
- ・高大連携(特に高校の改革)の現状がよく分かった。大学関係者にとって高校の現状を知るのにまたとない機会だった。
- ・今後の学校運営上で参考になることが多かった。
- ・今後の教育実践に参考になることがあった。
- ・先進的な実践をなさっている高校・大学の具体的な事例報告を拝聴することができて、大変勉強になった。
- ・大変分かりやすくお話しいただき、今後の授業で常に念頭に置きたいキーワードを複数見つけることができた。
- ・知りたいことを知ることができた。

事例報告①

- ・2人の若手教員に精神を伝え、それを担当してもらい、他の教員に伝えていくことで、学校全体としてこの取り組みを根付かせていこうという実践のエネルギーを感じた。
- ・やってみたい事例がそのまま具体的に説明された。
- ・学校全体で取り組むことの重要性、組織づくり、体制の構築がいかに大切かよく分かり、校長にもしっかりと自信をもって進言できる。
- ・吟味・評価するために何が必要なのか、よりよい判断をするために必要なことを知れた。
- ・実践例として興味深い内容であった。
- ・職場に根ざした実践だと思った。
- ・生徒に付けたい資質・能力を具体的にイメージすることができた。
- ・分かりやすく具体的な実践が参考になった。
- ・論理的思考力・判断力・表現力の育成について、その理論と具体が示されていて分かりやすかった。
- ・澤井先生の「主体性を掘り起こす」という言葉に学校の探究の理念を感じることができ、大変共感する部分が多く、具体的な事例報告が大変勉強になった。

事例報告②

- ・教職員や生徒に対して、探究型授業の意義をしっかりと、時間をかけて伝えている部分が素晴らしいと思った。ICEモデルやパフォーマンス課題についても大変勉強になった。
- ・参考になる資料が充実していた。
- ・授業デザインシートが指導と評価の一体化に生かせると思った。
- ・生徒の様子がよく分かる発表だった。
- ・探求能力の育成に関する具体的実践例をご紹介いただき、とても参考になった。
- ・長年の地道な取り組みを経た実践報告には、参考になるべき点が多かった。教育の今日的課題を教員だけではなく、生徒とも共有したという点が素晴らしいと思う。
- ・高校普通科で探究の授業をする課題とそれを克服する道筋が示された。
- ・大学に所属しているため、現在の高校教育についてお聞きする機会がなかなかなく、探究の授業の取り組みを初めて知った。主体的な学びの機会が増えていることは、大学での学びにスムーズに入れることにつながるので、今後も継続していただきたいと思います。

事例報告③

- ・千葉大学がこんなにもたくさんの労力をかけて、高校生に対して学びの扉を開いていること、初めて知った取り組みも多かったので感銘を受けた。本県でも高大接続の目標にさせていただきたいと思った。
- ・千葉大学の「飛び級入学」やGスキッパーのような独自の大胆な試みを、ぜひ他の大学でも行ってほしいと思う。
- ・大学からの高大連携のお考え等をお聞きすることができ、よかった。
- ・大学での具体的な事例は大変参考になる。入学の方法の多様性、学びの多様性については、今後も求められることであり、本学でも多様な入試の多様性の拡張、ラーニングコモンズの拡大について検討されているところだ。
- ・高大連携の取り組みが盛んで参考になる。
- ・国立大学でも高大連携に積極的に取り組んでおられることが分かった。
- ・千葉大学のさまざまな取り組みについての現状や意図などを知ることができ、よかった。
- ・知らないだけで、高校生の学びの場は多く存在しており、とてもよいと思った。

パネルディスカッション

- ・やりとりを経て論点が明確になり、理解が深まった。
- ・事例報告だけでなく、お互いの発表から得られた新たな視点の報告があった。
- ・質問に対しても分かりやすく説明してくださった。
- ・それぞれのお立場からの率直なお話をお聞きできたので、よかった。
- ・それぞれのパネリストの先生方の熱い思いを伺うことができて、大変有意義だった。
- ・もう少し、深く入り込んだお話が聞きたかった。少し時間が短く感じた。
- ・発表の中では分からなかった疑問等が解決できたのでよかった。

第1分科会【国 語】

- ・スライドを使って分かりやすくゆっくりと説明してくださり、国語科の指導について学ぶことができた。
- ・生徒に論理的文章を読ませる時に、2つの観点を持って読むことで、根拠を基に自分の考えを表現する力の育成につながるがよく分かったので、今後の授業に生かせると思った。
- ・理論と実践が統合された充実した発表を拝聴でき、これからの取り組みの具体的な指針を得ることができた。
- ・授業での具体的な生徒の発言などが聞けて、なかなか面白かった。

第2分科会【地歴・公民】

- ・大変深く探究授業について学ばせていただいた。より具体的実践例と理論と双方を学ぶことができ、大変有意義だった。
- ・大変な職場環境の中で、めげずに一生懸命、教育実践に取り組んでおられることに感銘を受けた。
- ・今後の教育実践の参考になった。
- ・若手が頑張っているのが刺激・励みになった。

第3分科会【数 学】

- ・今後の授業の中で実践してみたいことが見つかった。
- ・実践事例を参考にできる。

第4分科会【探 究】

- ・ QFT について改めて流れや実施方法を実感することができた。
- ・ とても面白い内容だった。
- ・ より知りたいと思えた。また有効な取り組みだと感じた。
- ・ ワークショップ形式も取り入れて、参加者が積極的に参加できる形であり、内容も参考になるものであった。

特別分科会①【アドミッション専門人材開発】

- ・ アドミッション業務担当者が直面している課題がテーマとして扱われており、現場ですぐにでも応用できる実践的な内容だった。
- ・ 限られた時間だったが、非常に参考になった。
- ・ 資料を含め分かりやすく工夫されていた。
- ・ 入学選抜に関わる事務職員ではなかなか知る機会がない入試検証・面接設計等の手法の視点を教えていただけた。国立大学法人にいと「教員任せ・学部任せ」になってしまう事務職員の課題・問題意識の持ち方の甘さを改めて実感する機会となり、とても刺激的だった。

特別分科会②【高大社連携キャリア教育】

- ・ 生徒・学生の成長のあり方が興味深かった。
- ・ 大変参考になった。高校生、大学生の可能性、底力を実感した。
- ・ フューチャーセッションを企画実施された高校生・大学生の学びについてよく分かった。また、変化する社会の中で高校生・大学生がどのように感じるのか、そういった「声」を知ることができたことがよかった。質問に対しても丁寧に取り上げていただき、大変感謝している。
- ・ 高校生、大学生の生の声を聴けて、貴重な機会だった。高校生でもしっかりした意見や考え方をきちんとまとめて（しかも自分の言葉で）発表されているのが印象的で、このフォーラムでの成長も大きかったのではと推察された。